

坂本地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成20年 7月31日（木曜日） 19時30分 ～ 21時15分
開催場所	坂本ふれあい施設 プレイルーム
出席者	市民：27人 行政：市長、副市長、総務次長、企画部長、坂本コミュニティセンター所長、政策局長、地域振興局長、広報広聴課長

■開会のことば

- ・私たち女性が日ごろから考えていることを伝える女性懇談会
- ・本日が4回目
- ・参加者は各区から選出された27人の皆さん

■市長あいさつ

- ・第4回目となる女性懇談会です。
- ・4月20日の市長選挙で当選させていただきました。1期目で公約として掲げさせていただき、2期も引き続き実施すると公約をあげさせていただいた。
- ・趣旨は、色々な集会にお伺いし、男性の出席者が多いこと。しかも年配の方が多い。
- ・市政を進めていくのには女性の声も必要なのではないか。
- ・今回は若者の声も必要だと思い、公約にあげさせていただいた。
- ・総務部に進捗管理課を設けて言いつばなし、聞きつばなしにしないようにしています。内容のフォローアップをさせていただく。
- ・今回工夫したのは車座の形です。また出席人数も少なめにし、お話しし易い様にしました。
- ・また、はじめに質問事項をとりまとめせず、この場で自由にご意見をいただき、回答させていただくようにしました。
- ・建設的な意見をいただき、即回答させていただきます。
- ・今日お答えできない部分もでてきますが、ご容赦ください。
- ・あらかじめ質問事項を決めているとそれだけしか話ができない。これも一つの課題であったので改めさせていただいた。
- ・色々なご意見もあると思います。活発に懇談をお願いしたい。

■市参加者自己紹介

副市長、企画部長、総務次長、（坂本コミュニティセンター所長）

■昨年までの女性懇談会の進捗状況報告（坂本コミュニティセンター所長）

- ・コミバスについては、平成17年度に運行計画を策定しました。
- ・県道沿いの歩道設置については、平成18年2月建設課から県に実施要望を提出、平成19年12月県にて設置済み。
- ・坂本地区の下水道整備の促進については、平成20年3月3日に、地元と終末処理場建設計画の同意をえました。平成20年度から工事の着手予定。
- ・小学校の教室不足については、平成18年度から特別教室を普通教室として利用、平成20年度まちづくり協議会の中で検討中。
- ・児童館の建設はさかもとふれあい施設として整備済み。平成20年5月2日にオープンしました。

（市長）H19年度の女性懇談会の分は？私の記憶では、下水道の話がでたのでは？

- ・昨年の懇談会での資料については、また作り直しまして、配布させていただきます。

（市長）H19年度の女性懇談会では要望事項がなかったとのことでした

（司会）進捗状況については、またお知らせしますとのことでした。

■懇談内容

- ・昨年までは、管理職の方が並んでいて、女性が意見を言うには勇気がいるような会場でした。
- ・今日は今までとは違って、出てきたなら言わなきゃ損です。
- ・「地域の財産、子どもたちのために今できることを」テーマにします。

発言者	発言要旨	対応者	対応（回答）の内容
16区 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本小学校の児童数が増えて教室が足りない。 ・東濃地域の中でもマンモス校 ・北部から通うに遠い（1時間くらいかかる）。 ・大規模の学校になったのなら、北部にもう一校学校を作ってほしい。 	副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、坂本地域は人口が増加しています。 ・東濃地域でもマンモス校の3番目、880人の児童数。 ・教室が足りない。 ・特別教室を普通教室に利用している。 ・小学校3年生が161人、40人学級を越えている。対応は必要と思う。 ・学校周辺は文教地区として、幼・保・小・中と教育施設がそろっている。 ・まちづくり協議会が、この地区をどんな風に整備していけばいいかアンケートをとっている。 ・人口動態から見れば3年生未満の児童は減っている。 3年生が4・5・6年生と卒業のころから生徒数が減ってくる。アンケート結果をふまえて文教地区を検討していく。 ・課題となっている幼稚園・保育園の耐震化、位置的な問題もある。 ・あり方として、耐震化も含め検討したい。 ・小学校の耐震化は既に終わっているが、皆さんのご意見も参考にして検討していく。

<p>新町 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本保育園児の命を守る取り組みという観点から。 ・園児が100人を超えている ・園の現状、立地状況を説明園の裏は垂直のコンクリートの壁、雑木林・前は垂直に落ちている。 ・災害時に園児が逃げる場所が無い。早急に具体的な取り組みをお願いしたい。 ・耐震化程度では安心できません。 ・保育園の駐車場が非常に少ない。ご一考をお願いする（送迎時は1列に並ぶ）先生と話をする時間も取れない。 	<p>副市長</p> <p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中学校は、運動場、プールを動かさないと、相対的な配置ができない。 ・国の補助金の問題。 ・幼稚園にはあるが、保育園には一切補助金がもらえない。 ・耐震も含めて補助金がもらえないかと県に要請しています。 <p>・先を見越すのは市政全般にわたって大切な話。</p> <p>・市役所の力をアップしないといけないと指導している。</p> <p>・計画する力が不足している。</p> <p>・先を予測する習慣をつけながら、企画力を持って計画してくれと指導している。</p> <p>・学校計画だけでなく市役所全体にわたって計画力をもってやるように言っている。</p> <p>先ほどの下水道の話でもそうですが、市役所はできるだけ早く、と言いますが、いつごろかという区切りがない。この点は改めていかななくてはいけない。</p>
<p>10区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級がハードとすれば、ソフト面での、スクールカウンセラーについて。 ・不登校、引きこもりの子供が多いなか、二度とない子どもの時期に手をさしのべなければいけない。 ・スクールカウンセラーはどうなっていますか。 	<p>副市長</p> <p>市長</p> <p>企画部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数や動きについては、教育委員会ですので、本日お答えできませんが、不登校の子に対しては、かやの木教室で普通の学校へ戻っていけるように努力しています。 ・こんな時代で多動性の子どもたちがふえているのは現状です。 ・教育委員会でちゃんと指導できる態勢を整えている。 <p>・今日的な課題にはしっかり対処していく。</p> <p>・少人数指導対応で先生を増やした</p> <p>・20年度からは多動性の子のために先生の加配を増やしている。</p> <p>・今日は教育委員会が来ていませんが、移動教育委員会をやってます。</p> <p>・今日の話は教育委員会に伝えていきます。</p> <p>・多動性の子に特別支援助手を5人配置。</p>

		司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月補正予算で骨格予算の肉付け予算として、不登校対応でカウンセラー2人を予算化した。 ・ 一中と坂本中学校に配置。 ・ 発達支援センター（つくしんぼ）の機能を充実し、幼少期での実態に即した対応を図っている。 ・ 手遅れにならない形で、福祉、医療を含めた形で対応しています。 ・ 友人がカウンセラーをやっている。 ・ スクールカウンセラーがやりがいのあるように、認めてもらえるように、誇りを持てるように、人数だけでなく、質も高めて欲しい。
12-3区 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ はなのきセンターのオープン ・ 子どもたちが利用させていた <p>だいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親の交流に利用しています。 ・ 坂本幼稚園の給食も実現し、長年の要望がかなった。 ・ 先日給食参観をやっていただいた。子どもたちの美味しそうに食べる姿を見てとても喜ばしい。 ・ 市の取り組みにお礼をなかなか言う機会がありませんので出席しました。要望を出すばかりで、お礼を言う機会を得てうれしい。 ・ 市民病院に電子カルテが導入されましたが、トラブルが多く患者にとっては大変です。 ・ 職員が慣れないせいか、待ち時間が長い。 ・ もうすこし合理化できませんか。 ・ 坂本の中学校では40人クラスで、参観日には親が全員教室に入れません。 ・ 35人学級の実現をお願いします。 ・ はなのきセンターで親の交流をし、ほうば寿司を作ったが、炊飯器がないので、コミュニティセンターで炊いてきました。はなのきでご飯を炊けるように考えていただきたい。 	副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテについて。 ・ 他の地区からもお話をいただいています。 ・ ドクターもパニック状態で打っている。 ・ ドクターの年齢の差で違いがあります。 ・ 診療、患者の制限をしたりしています。 ・ 新しいシステムを入れるとどこでも同じ状況です。 ・ もう少し時間を頂きたい。 ・ 電子カルテは、将来光ファイバーを活用し、まち医者との医療連携にもつながります。 ・ ほうば寿司（はなのき）の件。 ・ たくさん利用していただけてうれしく思います。 ・ 児童の8割、約600人近くがランドセル入館証を持っています。 ・ 毎日児童が200人寄っています。 ・ 子どもと同じく高齢者がふれあい施設に集まっていたら、ふれあっていたらいい。 ・ 炊事場はありますが、炊飯器の整備はしていません。 ・ みんなで考えながら、コミュニティも活用していただけて、ご利用ください。

<p>11-2区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を明るくする運動の啓発物品を配った。 ・先生が不審者に物をもらうなど言った。 ・私たちはエプロンをかけていました。 ・なぜ不審者といわれたいいけないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・これから高齢者が増えてくる。公約には高齢者に対して明るく豊かに暮らしましょうと言う計画が1つも無い。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する施策は？ ・子どもも大切ですが、高齢者には？ ・若い人は子どものことしか言わない。あたたかい、介護のできる市をつくって欲しい。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たすきをしていけばそれなりの運動をしていることはわかる。常識として考えるべきことで、不審者扱いは疑問。 ・学校・地域の中で議論してもらうべき問題。 ・今日のお話は教育委員会には伝えます。 ・やるかどうかは学校の中の話 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防を含めた健康づくりを公約にいれている。 ・市民病院と坂下病院の医師の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・病院については高齢者だけではありませんが、特に高齢者には大切な話。 ・高齢化と少子化対策の二者択一でなく、バランスが大切。 ・若者の政治参加が少ない。 ・高齢者の方が多いのかな
<p>12-4区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は地域の大人が声をかけると返事が帰ってきました。 ・最近は声をかけるとだまってい ・心の教育ではないでしょうか。声を返す気持ちを持って欲しい ・不審者呼ばわりされていては坂本は良くならない。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する、心遣いが欠けている。 ・心の教育を！ <ul style="list-style-type: none"> ・以前にくらべて子どもたちの様子が変わっている。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この施設をふれあい館として、子どもとお年寄がふれあえる場とした。 ・中津地区は全て児童館と呼んでいる。 ・1期目の公約の中にふれあい館として掲げました。 ・お年寄りが生き生きとした気持ちになって欲しいという思いでつくった。 ・高齢者が子どもとふれあうことが生きがいになる。 <ul style="list-style-type: none"> ・PTAにコミュニティ（C）を足してPTCAに。 ・両親、先生、地域と子どもと捉えていけないといけない。 ・あいさつをしっかりとしないといけない。 ・地域の人々のあいさつと不審者の声かけと混同される悲しい時代。 ・どうしたらいいかは皆で考えていけないといけない。 ・挨拶をすることが不審者を遠ざけることにもなる。

<p>15区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの通学路（めぐりーんから下った所）に横断歩道がない。早急に設置して欲しい。 ・サークルKの所から病院方面に歩道を設けてほしい。早急をお願いしたい。 ・電子カルテの件です。 ・先生は患者を見ずに電子カルテばかりを見ている。 ・患者の顔を見てほしい。 ・医師不足と言われていますが、医者はだれでもできるものではない、優遇できないか。 ・恵那市は65歳以上にはバスの割引券があるそうですが、中津川市にはありませんか。 	<p>市長 所長 市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道は、警察の許可ですので、なかなかさつと設置できない。 ・また警察と協議します。 横断歩道については、15区の区長から要望書を頂いてます。交通安全協会を通じて警察にあげています。 ・北部グラウンドのところはやりました。 （市民）あそこは意味がないです。 ・まずはあそこが有効だと、地元からの意見でしたので、あそこから整備しました。今後については、また地元と協議してやっていきたい。 ・電子カルテの話は副市長が話したとおりです。 ・優遇措置については、6月議会で救急医療の手当てを予算化した。 ・黒字になったときには、医者に還元します。 ・医者の収入よりも、休みのない勤務条件が問題。 ・医者の確保が必要です。大学病院にも引き上げをしないよう頼んでいる。 ・大学病院で研修していた医者を街中の病院で研修できる制度にしてしまった。地方の病院から医者をとりあげてしまった。 ・研修医制度を取り入れ、現在7名の研修医がいます。市民病院で研修していただき、中津川市を気に入っていただいて、勤務していただくように取り組んでいる。 ・医学生に対する奨学金制度を設け、募集を行った。 ・1名募集で3人応募してきました ・予算化し3人受け入れます。 ・夜中でも、軽い症状でも病院を受診するコンビニ受診が増えました。 ・患者が増えたことで、医者の負担が増えました。 ・兵庫県の丹波市では過酷な労働で産科医が辞めたいと。辞めてもらっては困るので、患者側がマニュアルを医師と一緒に整備し、過酷な労働状態を改善する取り組みを実際にやっている。そんなところを勉強しようという事でやっている。
---------------------	---	-------------------------	---

<p>10区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りや移動の足が大切。自家用車が無い人は足が困る。 ・東鉄バスが走っているが、路線を外れると困る。 ・市で乗り放題バスはできないか。以前に東鉄バスでパス券を1,000円で購入すると、11～4月までの6ヶ月間どれだけ乗っても1回100円というのがあった。市は知っていたか。 ・東美濃ふれあいセンターで行事があってもバスがなく車でしか行けない。 ・バス路線の話 ・規制緩和なら市がコースを決めて、市民本位で決めてほしい ・タクシー会社、バス会社とタイアップして独自の方法を。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者の話ですが、資料「中津川市の今」のP22にコミュニティバスの運行について書いてあります。 ・それぞれの地区で、試験運行しています。 ・坂下・福岡・蛭川では合併前にやりました ・バス業者とタイアップしてとのお話がありましたが、坂下は業者とタイアップして年間2千4百万円かかっています。 ・民間とタイアップすることが必ずしも安いとはならない。 ・阿木や付知・加子母では安く運営しています。 ・今検証していますので、安い方法でやっていきます。 ・自家用車で人を運んで料金をいただくのは白タク行為です。 ・これを解決しないと、地方の交通弱者のことは進まない。 ・互助交通を認めていただくためには全国的に同じ状況の自治体との協力が必要。 ・儲けの無い程度、ガソリン代程度はお支払いしていただく有償の方式を検討。 ・路線が無いところにはコミバスを運行して行って、更に奥については互助交通を利用して隣近所で助け合っていく。
<p>16区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に太陽光の施設を設置してはどうか。 ・市役所の窓口業務ですが、時間をもう少し長くできないか。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公約にしました。 ・設置にはそれなりのコストも必要 ・できるだけそういう方向でやりたい。 ・国の補助が無くなったが、補助の復活を検討中。 ・窓口については、延長しました。市民サービス、行政改革の一環で延長した。 ・利用する方が少ない。 ・職員が手持ちぶたさ。 (市民：PR不足なのでは) ・知っていらっしゃらないので、PR不足かもしれません。 ・いいことはいろいろやっていますが、PRが不足している。もっとPRさせてもらう。

■市長総括

- ・ご意見、ご要望、ご質問ありがとうございました。
- ・言いつばなし、聞きつばなしにせず、後のフォローをしていきます。
- ・2人の司会の方にはありがとうございました。
- ・市民の皆さんの声に応えていきたい。
- ・先を読む、PRをする。
- ・サービスを届ける。
- ・光ファイバー、はなのきセンター、幼稚園の給食について感謝の言葉を頂いた。ありがたく思いますし、職員も励みとなる。

■閉会

- ・住民主体に考えていただいて、地域の状況に応じた事業として考えて欲しい。
 - ・行政が担う部分、自分たちでできる部分、地域でできる部分がつながっていく施策が必要。
 - ・住民主体で考えていただくよう要望します。
- アンケート用紙がありますので、ご記入して提出してください。

(市長)

- ・コミュニティセンターの役割が地域と行政のつなぎ役。
- ・旧町村には地域総合事務所として大きな事務所を構えている。
- ・中津地区にはコミュニティセンターも無い。
- ・人口の大きな坂本にはコミュニティセンター、人口が1000人程度の地域にも総合事務所。
- ・坂本においてはコミュニティセンター機能の強化が必要。
- ・コミュニティセンターを叱咤激励していただいて、人を増やさないと仕事が回らない状況にさせていただくと方向性の中で取り組んでいける。身近な市役所として活用してください。